



暑さに負けるな！元気にジャンプ！！

7/7 美幌保育園運動会

当日は好天に恵まれ、園児たちは練習の成果を存分に発揮し、元気いっぱいに競技に取り組んでいました。

びほろ町

ざかい

第19次美幌町議会始動

議長・副議長、常任委員会委員決定 …… 2 P

6月定例会のあらまし

副町長の選任・教育長の任命・補正予算 …… 4 P

こんなことを聞きました

一般質問 10人登壇 …… 6 P

8/5議会報告会・意見交換を開催します

新人議員 直筆で自己紹介 …… 17 P

政務活動費収支報告

議員別使途状況を公開 …… 18 P

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No.233 令和元年8月1日

◇発行／北海道美幌町議会 ◇編集／議会運営委員会

町議会始動

よる新体制でスタート！

5 月臨時会

議員改選後初となる臨時会を5月10日に開催し、議長に大原昇議員、副議長には岡本美代子議員をそれぞれ全会一致の指名推選により選出しました。

また、常任委員会等の選任も行い、より開かれた身近な議会を目指し、美幌町議会新体制でのあらたな4年間がスタートしました。

議会運営委員会

委員長 上杉晃央
副委員長 高橋秀明
委員 岡本美代子
委員 稲垣淳一
委員 木村利昭

議長・副議長

議長 大原 昇
副議長 岡本美代子

監査委員

高木 清氏（識見選出）
古舘 繁夫議員（議員選出）

総務文教厚生常任委員会

委員長 戸澤 義典
委員 岡本美代子
委員 上杉 晃央
委員 木村 利昭
委員 藤原 公一
委員 大江 道男
副委員長 馬場 博美

経済建設常任委員会

委員長 松浦 和浩
委員 坂田美栄子
委員 高橋 秀明
委員 伊藤 伸司
副委員長 稲垣 淳一
委員 古舘 繁夫

美幌・津別広域事務組合議会議員

大江道男議員
高橋秀明議員
戸澤義典議員
馬場博美議員



第19次美幌

大原議長・岡本副議長に



副議長 岡本美代子

“町民の意見を吸い上げ、
議員間で情報を共有したい”

14人の議員が協力連携し、美幌町議会としての役割を果たしていきたいと思っています。議会報告会・意見交換会など町民皆様のもとへ出向き、意見を吸い上げていくことも必要です。さらには、各議員の専門分野、農業、商業、福祉など議員間の情報共有をしっかりと行っていききたいと思います。

4年間よろしくお願いいたします。



議長 大原 昇

“より良い町づくりのため、
町民・行政と対話を重ねたい”

私は4年前にも議長を拝命しました。議会改革はまだ終わっていません。町民の意見をどのようにして議会に反映するのか。行政と対話を繰り返しながら、町のため、町民のために最善を尽くす議論を重ねていきます。

4年間、皆様のお力を借りながら、より良い議会、町づくりに励みたいと思います。

ご協力をお願いいたします。

《就任あいさつ》

議 事 内 容

■動産の取得

ロータリ除雪車（2台）

〈2,090万円〉



動産の取得、条例改正、補正予算等すべて原案どおり可決しました。主な内容をお知らせします。

■平成31年度一般会計補正予算

プレミアム付商品券事業

〈1億3,325万円〉

本年10月の消費税引き上げによる、低所得者・子育て世代（0～3歳半）の消費に与える影響緩和のため、上乘率25%のプレミアム付商品券の販売を行います。

事業費は全額国費で対応し、購入対象者は平成31年度住民税非課税者（4,600名）、子育て世代の世帯主（対象児童数400名）を予定しています。

6月定例会

副町長の選任、教育長の任命、役場庁舎建設の補正予算などを審議

6 月定例会のあらまし

【18日】会期を 3 日間と決定し、町長から行政報告を受け、議員 5 名（松浦・戸澤・藤原・上杉・木村）が一般質問に登壇。道路・河川等の整備要望、美幌駐屯部隊充実整備期成会の現状、公営住宅管理、ふるさと人財バンクの設立、保育施設・保育士の充実等について活発な議論が交わされました。

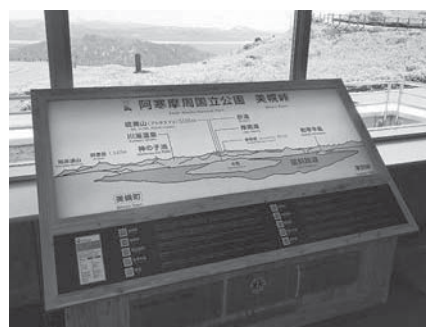
【19日】議員 5 名（馬場・坂田・稲垣・岡本・大江）が一般質問に登壇。地域コミュニティの推進、学校給食費無料化、高齢ドライバー交通安全対策、国保病院駐車場拡充、緑化・美化推進等について活発な議論が交わされました。

【20日】議案審議に入り、副町長の選任、教育長の任命、動産の取得（発電機、ロータリ除雪車、学校コンピュータ）、下水終末処理場非常用発電設備更新工事、過疎地域自立促進計画、辺地に係る公共施設総合整備計画、規約の変更、条例改正、補正予算案（一般会計・介護保険特別会計）2 件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。次いで、町長より一般廃棄物処理施設火災に係る追加行政報告を受け、火災施設修繕のための一般会計補正予算を審議し、原案どおり可決しました。その後、7 件の意見書案を可決し、3 件の報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出、議員の派遣を承認し、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告(要旨)

◆ご寄附・ご寄贈について

株式会社 中神土木設計事務所（代表取締役 酒井士登美）様から防災に役立ててほしいと 100 万円のご寄附を、ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区（地区ガバナー 若林輝彦様）から観光振興に役立ててほしいと、美幌峠レストハウス展望休憩室に美幌峠鳥瞰盤（ちょうかんばん・250 万円相当）をご寄贈いただきました。ご趣旨に沿って活用します。



～ 美 幌 峠 鳥 瞰 盤 ～

◆一般廃棄物処置施設第Ⅲ期埋立処分場の火災について

6 月 4 日、登栄のごみ処分場で火災が発生しました。出火原因については、消防署、警察署から自然発火が疑われるものの特定には至らず、不明火として扱われるとの報告を受けています。罹災状況としては、遮水シートの焼失、ネットフェンスの焼損で、早期の復旧が必要なため補正予算（計 6,674 万円）を追加提案しました。今後は、施設の安全管理を徹底し、再発防止に向け万全を期してまいります。

※その他、「職員の人事異動の発令について」報告がありました。

人事(副町長・教育長)

副町長の選任・教育長の任命に同意しました。
休憩中に就任の挨拶がありましたので、ご紹介します。



高崎利明 副町長 就任挨拶

私の生まれ育った美幌町は、人口減少と少子高齢化が進み、将来に対する大転換期を迎えているところです。

このような時期に、重責ある職に就かせていただくことになり、緊張感と責任感で、身の引き締まる思いです。町の発展と町民のために、身を挺して努力していきます。

今後ご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



矢萩 浩 教育長 就任挨拶

教育行政全般にわたる職を担うこととなり、その重責に身の引き締まる思いであります。

私自身まだまだ未熟ですが、一刻も早く課題や懸案事項について認識を深めながら、地域を支え、豊かな未来を切り拓く人づくりに誠心誠意向き合って力を尽くしてまいりたいと思います。

引き続き、皆さまのご指導、ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。

補 正 予 算

6月定例会・平成31年度補正予算は、全て原案通り可決しました。補正予算の主な内容は次のとおりです。

◇役場庁舎建設事業 1億4,058万円

総事業費32億723万円のうち、建築主体工事、機械設備工事等に係る費用。



～ 役場庁舎完成予想(令和3年完成予定) ～

◇屋内多目的運動場建設事業 8,390万円

総事業費7億7,503万円のうち、建築主体工事、機械設備工事等に係る費用。



～ 屋内多目的運動場予想(令和2年完成予定) ～

◇リリー山スキー場リフトワイヤー交換費用 480万円

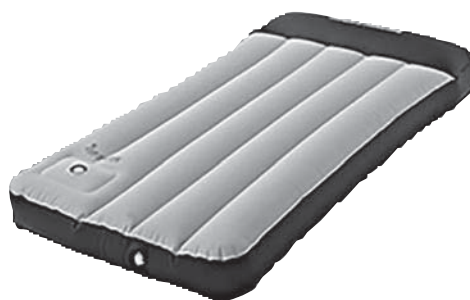
リフトワイヤーロープ経年断裂のための交換に要する費用。



～ リリー山スキー場 ～

◇防災用エアーマット購入 104万円

防災用エアーマット220台、ポンプ20台の購入費用。



～ 防災用エアーマット ～

※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

7 件の意見書案を可決し関係機関へ提出

令和元年 6 月定例会では、14 件の意見書の提出等を求める要請・陳情のうち、7 件の意見書案を可決し、国の関係機関へ提出しました。

〈新たな過疎対策法の制定に関する意見書〉

過疎対策については、昭和 45 年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4 次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和 3 年 3 月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

こんなことを決めました

一般質問 には

10 人が登壇

質問者と質問項目

■松浦 和浩 議員……7 頁

①町長マニフェスト

と総合計画

②道路・河川等の整備要望

■戸澤 義典 議員……8 頁

①自衛隊について

②地域を安全、安心、

災害に強いまちづくり

■藤原 公一 議員……9 頁

①公営住宅管理について

②防災・減災について

■上杉 晃央 議員……10 頁

①交通弱者対策

②ふるさと人財バンクの設立

■木村 利昭 議員……11 頁

①保育施設・保育士の充実

②不妊治療サポート

③町独自の雇用対策

④パブコメのあり方

■馬場 博美 議員……12 頁

①地域コミュニティの推進

②町道整備

③美幌・東陽保育園の整備

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあって最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

■坂田 美栄子 議員……13 頁

①安心して子育てできる

支援の強化

②教育支援体制の充実

③高齢者支援の充実

■稲垣 淳一 議員……14 頁

①町長所信表明について

②高齢ドライバーの交通安全

■岡本 美代子 議員……15 頁

①国保病院駐車場の拡充

②骨密度検査の推進

③町施設トイレの充実

④子ども 110 番の家

■大江 道男 議員……16 頁

①緑化・美化推進

②美幌町国民健康保険

町長公約 問 町長マニフェストと町総合計画の整合性は

松浦
和浩議員

答 計画への追加項目を協議しスピード感をもって進める



問 町長マニフェスト（公約）と美幌町総合計画の整合性、一致項目と不一致項目について伺いたい。

答 第6期美幌町総合計画は、平成28年度から令和8年度までの11年間を計画期間としている。マニフェストと総合計画の関連性については、必ずしも整合性を図る必要がないものと考えているが、今後総合計画実施計画に

追加すべき事項について、庁内各部署と協議し、マニフェスト実現に向けてスピード感をもって進めていきたい。



問 美幌町総合計画・実施計画・推進計画への追加・見直しは、いつまでに実施するのか。また変更内容の町民・議会への説明をどのように行うのか。

答 第6期美幌町総合計画の基本計画「中期」については、総合計画審議会による審議を経て、9月末をめどにマニフェストを掲載したものを策定する予定。また実施計画についても、マニフェスト項目の追加を含め、見直しを行う予定。町民・議会への説明や周知についても総合計画審議会による審議後速やかに行いたい。

道路・河川

要望状況は

問 網走開発建設部と北海道への道路・

河川等の整備要望について。要望期限はあるのか。

答 要望の期限については、特段期限がなく自治会などからの要望を受け、随時行っている。

問 具体的な要望状況は。

答 河川整備要望は、北見河川事務所と合同で実施している「重要水防箇所合同巡視」で、自治会からの要望と釜場整備や堤外水路、樋門内の浚渫（しゅんせつ）（土砂などを取り除くこと）などの要望を行っている。



問 要望等による事業の実施状況は。

答 国道の事故危険箇所14ヶ所のうち、対策済が2ヶ所、継続・新規事業化が2ヶ所となっている。

国の河川は各樋門に釜場を整備し、冠水時の対応が図られ、樋門や堤内排水路など浚渫・草刈りを実施している。

引き続き、オホーツク活性化期成会などを通して要望していきたい。



美幌自衛隊

駐屯部隊充実整備期成会の今後の活動は

戸澤

義典議員

答

最新情報を収集し町民の気運を高めたい



問 町長は所信表明

のうち「安全・安心なまちづくり」の基本目標の一つとして「地域の安心、くらしを守る自衛隊」を挙げている。自衛隊と自衛官に対する思いは。

答 地域と太い絆で結ばれた美幌駐屯地は、美幌町民の誇りであり、自衛官は国民の生命と財産、地域の安全と安心を守るため、重要な役割

を果たしており、深く敬意を表すとともに、心より感謝申し上げます。



問 基本目標「地域の安心、くらしを守る自衛隊」の真意は。

答 近年、大雨や大雪など自然災害が発生し、自衛隊に災害派遣を要請する機会が増えており、災害救助活動によって事態が収束している。

また、自衛官や退官者には、自治会やボランティア活動、スポーツ・文化を通じた地域貢献活動など幅広い分野で活躍いただいている。今後

も共に歩んでいきたい。

問 美幌駐屯部隊充実整備期成会の今までの活動をどのように分析しているのか。



答 閣議決定された「中期防衛力整備計画」に基づき、美幌

に駐屯する第6普通科連隊を「即応機動連隊」に指定し、装備の充実と部隊を増強するよう強く訴えてきた。

問 今後の期成会のあり方、活動について考え方を伺いたい。

答 美幌駐屯地との情報交換、防衛関係者を通じての情報収集など、あらゆるチャネルにより最新情報の収集に努め、目に見える活動で町民の気運を高めていきたい。

安全安心のまちづくり

町長の考えは

問 町長は「災害に強いまちづくり」を目標に掲げている。具体的内容は。

答 防災対策として、

昨年9月に発生したブラックアウト（全域停電）を教訓とした電力確保のため、各戸設置を含めた、オフグリッド発電（送電系統と繋がっていない電力システム）等の小規模ソーラー発電を推進していきたい。また、厳冬期での防災訓練を検討したい。



～ 太陽光発電 ～

住宅環境 問 美園・美英・美富団地の維持保全は

藤原
公一 議員

答 耐用年数経過団地は用途廃止する予定



環境を損なわないよう
経常修繕を実施し
たい。



～ 美園団地 ～

問 美幌町公営住宅
等長寿命化計画では、
維持保全について判
断を保留する団地と
して、美園団地、美
英団地、美富団地が
挙げられているが、
維持保全は外構も含
め行わない方針なの
か伺いたい。

答 耐用年数が経過
している団地につい
ては用途廃止を進め、
維持保全は外構を含
め予定していないが、
現在入居住戸の居住

問 公営住宅入居者
の高齢化が進んでい
るが、小規模でもバ
リアフリー化の計画
はないのか伺いたい。

答 現美幌町公営住
宅等長寿命化計画で
は、福祉対応型改善
事業及び小規模での
バリアフリー化の計

画はないが、老朽化
した公営住宅建替事
業の際には、高齢者
等へ配慮したユニバ
サルデザイン（障が
いの有無や能力差な
どを問わず利用でき
る設計）による整備
を計画したい。

防災・減災

実践型訓練は

問 自主防災リーダー
の行動、町職員の配
置、議員の行動、道
や国への連絡手段、
自衛隊への要請など
防災マニュアルに基
づく実践型訓練の予
定は。

答 町では「職員初

動体制マニュアル」

「避難所開設マニユ

アル」「避難勧告等

の判断・伝達マニユ

アル」に基づいた職

員の初動訓練や、自

治会連合会主催の自

主防災訓練等で避難

行動、避難所入所時

の名簿作成、災害対

策本部への報告など

実践的訓練も行っ

ている。

また、今年度は

「美幌町総合防災訓

練」を訓練対象者や

関係する組織・団体

を広げて実施する。



海外旅行者・研修生

安全確保対策は

問 美幌町への海外
旅行者・研修生の安
全確保のための支援
方法は。

答 災害による被害
を防ぐためには、事
業所や居住自治会へ
の説明、防災訓練へ
の参加依頼など、体
験やコミュニケーションを深める必要があ
る。

防災の基本である
「自助」「共助」の
意識を外国の方々に
も理解いただきなが
ら、全町的な防災訓
練に取り組んでいき
たい。

交通弱者 問 運転免許自主返納、助成拡充予定は

上杉
晃央議員

答 現制度を維持・周知し事故減少を図りたい



問 自動車運転免許を自主返納した高齢者への交通費助成実績は。

答 運転免許自主返納支援事業は、65歳以上の方や障害者手帳を持っている方が免許証を自主返納された方を対象にバス回数券やタクシー利用券の2万円を助成しており、平成27年度から平成30年度自主返納の実績は360名、助成額720万円となっている。



万円となっている。

問 他自治体の取り組み、助成拡充の考えを伺いたい。

答 タクシー利用券助成の他、商品券の進呈など回数も本町と同じ1回のみの助成や3年間助成する自治体もある。助成を拡充する予定はないが、現行制

度を維持、周知し高齢者による交通事故の減少を図っていきたい。



問 交通弱者対策は、これからますます高齢化・人口減少が進んでいく中で重要な政策課題になる。対策を講じる考えは。

答 デマンド型交通（事前予約による地

域公共交通）や他の交通手段をあわせた地域公共交通ネットワーク等交通弱者対策について検討したい。



～ デマンドバス（足寄町） ～

ふるさと人財バンク

設立活用予定は

問 町の活性化のためには、美幌町出身者や縁のある方をま

ちづくりの応援団として「ふるさと人財バンク」設立の必要性を提案してきた。人財情報の入手方法

や情報管理、活用方法など総合的な検討状況を伺いたい。

答 職員やふるさと会などを通じて、人財に関する情報収集等に努め、町内外の約50名を登録候補者として、早期に「美幌ふるさと人財バンク」名簿を完成させたい。

活用方法についても全国自治体の事例を参考に検討していきたい。

問 人財バンク名簿の完成公表、運用はいつごろを予定しているのか。

答 10月ごろをめどに一定の方向性を示したい。

子育て支援 問 保育士充実・確保の考えは

木村
利昭議員

答 賃金の見直し、処遇改善を行いたい



問 町長の所信表明

「安心して子育てできる支援の強化」の観点から、保育施設・保育士の充実について伺いたい。保育士確保の考えは。

答 全国的な保育士不足と同様に、美幌町でも、保育士をすぐに確保できない状況にあるため、今年度臨時職員保育士の賃金見直しを行った。引き続き賃金や処遇改善をしていきたい。

問 保育受け入れ間口増設予定は。

答 町立保育園は、現在の施設規模から間口増設は難しいが、民間施設の美幌藤幼稚園が園舎改築を進めており、0歳児を含めた低年齢児保育を増員する。



～ 改築中の藤幼稚園 ～

問 一時保育・夜間保育施設の設置は。

答 一時保育は子育て

て支援センターで実施している。利用者が増加しており、保育士確保を図りながら最大限受け入れできるような努力している。夜間保育については利用者ニーズを把握し検討したい。

問 0歳児保育拡充の考えは。

答 民間施設での低年齢児保育の施設整備の状況を踏まえ検討したい。

不妊治療サポート

助成拡充は

問 町長の所信表明

「人口減少社会への挑戦」「安心して子育てできる支援の強

化」の観点から、特定不妊治療以外の不妊治療費や遠方への診療のための交通費補助の考えは。

答 平成30年度から経済的負担を軽減するため特定不妊治療費用助成を行っている。その他必要な支援については、妊娠を希望する方の要望を聞きながら検討したい。

問 漢方薬等で体質改善し、不妊と向き合う方が増えている。町で助成する考えは。

答 不妊症の要因は様々で、体質改善には一定の期間が必要のため、助成対象基準の判断が難しい。

町独自の雇用対策

実施の考えは

問 町長の所信表明
「美幌経済が好転す

るまちに」の観点から、町のPRを同時に行う都市部での就職相談会を実施してはどうか。

答 町外から働き世代を誘致するため、関係機関と協議し、どのような手法が効果的か検討したい。

町民との対話

手法の検討を

問 現在の書面等で受付する「パブリックコメント」では町民からの声が多く寄せられていない。町民と直接対話する「パブリックヒアリング」を検討しては。

答 パブリックコメント手続きの改善点、多くの町民から意見をもらえる手法を検討したい。

地域コミュニティ

問 自治会活動充実のため補助拡充予定は

馬場

博美議員

答 他自治体も参考に検討したい



る考えは。

答 自治会連合会から損害保険加入の相談を受けており、どのような支援方法が良いか検討したい。

問 少子高齢化が進む中、地域コミュニティを推進し、自治会活動を充実すべきと考える。自治会活動への町補助金交付基準に加え、さらに補助する考えは。

答 自治会での運営や財政面の厳しさは認識している。他自治体も参考に補助の見直しを検討したい。

問 自治会が安心して活動できるよう災害保険加入助成をす



～ 自治会が整備した花壇 ～

問 自治会要望や政策などに対する町民の声を聞く地域懇談会を開催する考えは。

答 年 2 回、自治会連合会との懇談会を実施し意見交換を行う

ている。今後も地域と話し合う機会を作つていきたい。

問 町民への情報提供は、広報「びほろ」の配布が重要な役割を果たしている。未配布世帯の実態と対応を伺いたい。

答 一部の自治会未加入世帯には、配布されていないため、公共施設や商業施設で配布している。

問 広報配布手数料を値上げし、各自治会が自治会未加入者に配布し、自治会加入促進を図る考えは。

答 現時点で手数料を値上げする考えはない。自治会を通じ

ての広報配布に協力を求め、自治会への加入促進に努める。

町 道 整 備

今後の予定は

問 町道の維持管理の対応・経費は。

答 自治会や住民要望、道路パトロールにより随時道路修繕を実施している。維持管理経費は、平成 30 年度 4 千 9 4 0 万円、平成 31 年度 3 千 2 2 5 万円。

問 補修されていない道路の整備計画、農村地区の未舗装道路整備予定は。

答 年次的に道路整備を行っているが、国の交付金など財源確保が課題で予定どおり進んでいない。計画的な道路整備を実施するため財源確保に努めていきたい。

町立保育園合築

具体的内容は

問 美幌町公共施設等総合管理計画では、「美幌・東陽保育園は、近い将来 2 つを 1 つに合築し、0 歳児保育・経営母体を含め検討する」としている。考え方は。

答 美幌・東陽保育園とともに施設の老朽化が進んでいる。利用者ニーズを把握し、民間施設を含めた町全体の状況を踏まえ、早い時期に整備構想を策定したい。



～ 美幌保育園 ～

子育て支援 問 子育て支援強化の具体策は

坂田
美栄子 議員

答 子育て世代包括支援センターを設置する



問 子育て支援事業の強化すべき具体的内容及び0歳児保育の充実内容は。

答 現在実施している発達支援教室や予防接種費用助成、産後ケアの他、妊娠期から子育て期における総合相談窓口となる子育て世代包括支援センターの設置を進めていきたい。また、0歳児保育の充実については、民間施設を含めた町全体

の状況を踏まえ、保育施設整備構想を策定したい。

学校給食費無料化

実施内容は



問 町長マニフェストの給食費無料化の実施は。

答 多子世帯の負担軽減を図る子育て支援の観点から、第3子以降の小中学校給

食費無料化を財政負担も考慮し早期に実施したい。

特別な教育支援

現状・対応は

問 発達障害者支援法の施行以来、教育上特別の支援を必要とする児童生徒の教育支援のあり方は大きく変わってきている。美幌町での現状、対応を伺いたい。

答 美幌町での特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、小学校12%、中学校2.9%となっている。児童生徒への対応は、特別支援教育コーディネーターの指定、学

校から保護者への状況説明、オホーツク教育局や道立特別支援教育センターの巡回相談、美幌療育病院相談支援など、より良い教育環境について、理解が得られるよう取り組んでいる。

学校運営協議会

取組内容は

問 地域住民参加の学校運営協議会（コミスク）による学校運営と現在の社会教育で実施しているコミスクとの関連性を伺いたい。

答 社会教育体制におけるコミスクは、学校と地域の協働関係や信頼関係の土台となる大切な取組で、その取組を基本として段階的に学校運営協議会（コミスク）

に発展していくことで、組織的・継続的な体制を構築したい。

高齢者支援

具体策は

問 単身高齢者が増加している。高齢者等複合施設整備の考えは。

答 民間活力を活かすことを検討し、介護保険料に影響を及ぼす過度な施設整備とならないよう、介護保険事業計画を策定したい。

問 単身高齢者支援の具体策を伺いたい。

答 今後とも安否確認や介護予防などの高齢者支援事業の活用促進、老人クラブやサロンの内容充実のための支援策について検討を進めていきたい。

町長所信表明

問

「活力あるまちづくり」最重要課題は

稲垣

淳一議員

答

「人口減少社会への挑戦」ととらえている



問 町長の所信表明、

3つのまちづくりの柱、10の基本目標のうち、「活力あるまちづくり」の重要課題は。

答 「活力あるまちづくり」の中では、「人口減少社会への挑戦」について、関係人口の創出、自衛隊即応機動連隊の新編による隊員の増強、外国人労働者の就労確保の取り組みを進めていきたい。



～ 発達支援センター ～

問 「次代につなげるまちづくり」の重要課題は。

答 「次代につなげるまちづくり」の中では、「安心して子育てできる支援の強化」について、0歳児保育の充実、第3子の小中学校給食費無料化、発達支援センターの充実及び子育て世代包括支援セ

ンター設置の施策による、安心して子育てできる環境整備を図っていきたい。

町長所信表明 ～3つのまちづくりの柱と10の基本目標～

○活力ある

まちづくり

- ・人口減少社会への挑戦
- ・夢を持てる、夢が実るまちに
- ・美幌経済が好転するまちに
- ・美幌の「美」を守るまちに

○次代につなげる

まちづくり

- ・「安心して子育てできる」支援の強化
- ・ふるさと教育の推進
- ・地域包括ケアシステムの深化

○安全・安心な

まちづくり

- ・地域を安全、安心、災害に強いまち
- ・地域の安心、暮らしを守る自衛隊
- ・広域連携の推進

問 「安全・安心なまちづくり」の重要課題は。

答 「安全・安心なまちづくり」の中で

「安全・安心なまちづくり」の中で

は、「地域を安全、安心、災害に強いまちに」について、活力と絆のある自治会づくりの支援、ボランティア活動の支援、高齢者世帯等のボランティア除雪、緊急時の行動訓練の充実などを推進したい。

高齢ドライバー

交通安全対策は

問 高齢ドライバーによる事故軽減策について、各種安全装置が装着されている車種への買い替え、装置取り付けの補助、運転免許証返納者へのチケット配付額拡充の考えは。

答 美幌町では、高齢者の運転免許証の自主返納を促し、交通事故の減少を図るため、高齢者等運転免許自主返納支援事

業を実施している。2万円を上限に、バス回数券やタクシー利用券を助成しており、今後も現制度を維持していきたい。

また、自動ブレーキなど安全装置付き自動車などに対する補助については、現在考えていないが、政府で検討されている内容等を注視し、高齢者に向けた交通安全に対する意識啓蒙を優先して実施していきたい。

65歳以上運転免許証保有者

美幌町 …… 3,833人 (56.70%)

全 道 …… 780,457人 (48.22%)

※平成29年度末

国保病院 問 病院駐車場不足の解消は

岡本
美代子 議員

答 職員駐車場確保により不足は解消されている



問 国保病院は、外来・入院ともに患者数が増加しており、来院者の駐車場が足りない、玄関前の乗り降りをしやすくしてほしいとの声がある。対応は。

答 駐車場不足を解消するため、職員用駐車場としてコミュニケーションセンターの駐車スペースの借用や民間駐車場の借り上げを行った。結果、現在のところ来院者

用駐車場不足は解消されている。

また、玄関前の車の乗り降りについては、正面玄関前の車の横付けは可能だが、混み合う時間帯によっては、乗り降りに時間を要しており、複数台が横付けできる駐車スペース設置が可能か検討したい。



～ 国保病院玄関 ～

骨密度検査

推進する考えは

問 骨量減少による大腿骨部骨折等で寝たきりにならないよう、骨密度検診を推進実施する考えは。

答 現在、町内8医療機関で骨密度検査を実施している。骨粗しょう症予防のためには、若い頃からの丈夫な骨の形成が重要なことから、知識の普及や運動の実践をさらに進めて、健康寿命の延伸に取り組んでいきたい。

町施設トイレ

設備充実を

問 トイレ環境が充実していない公共施設の環境を整備し、

町民が積極的に生涯学習や地域活動に参加できるよう取り組む考えはないか。

答 本町の公共施設は、建築年代が古い建物が多く、改修が望ましい現状にあるが、トイレ環境の整備には、一定程度の予算を伴うことから、直ちに実施することは難しい。基本的には公共施設の改修や更新時にあわせて、トイレ環境の充実に努めていきたい。

子ども110番の家

見直し予定は

問 地域の子どもを見守るため、「子ども110番の家」に取り組んでいるが、年月の経過により住

居環境も変わってきている。新たな協力依頼、計画の見直しが必要では。

答 子どもが助けを求めてきたとき、家に入れるなどして保護するため、ステッカーを掲示する「子ども110番の家」の登録件数は230件となっている。しかし、スタートしてから21年が経過していることから、実情に即した手法について、警察など関係機関と協議したい。



緑化美化 問 主要国道等の緑化推進の取り組みは

大江
道男議員

答 緑化美化を担う団体に協力していきたい



問 市街地国道沿線等の緑化・美化のための植栽柵設置及び予算化の考えは。

答 道路を管理する網走開発建設部では、国道に新たに植栽柵を設置する予定はないが、国道の補修・改善にあわせ植栽柵の設置要望を行っていききたい。

問 町内各地の廃墟や空閑地が景観を損ねており、住み続けたい、美幌に住みたい、美幌高校への入口付

いとの思いに逆行している。空き家保有者や空閑地保有者に対する景観保存促進に向けた推進策を伺いたい。

答 美幌町空家等対策計画で自主的な適正管理、除去の促進等を行い、景観を損なわないよう対策を講じることとしている。空閑地保有者に対しては、住民からの問い合わせにより、所在を確認し、草刈りなど清潔を保つよう指導している。

問 観光地への出入口となっている本町主要国道入口、特に美幌高校への入口付

近の緑化・美化に早急に取り組む考えは。

答 植花に関する知識や技術を持つているフラワーマスターが中心となつて緑化・美化に取り組んでいただけることとなつており、団体の活動や参加が円滑に行えるよう協力していきたい。



～ 美幌町報徳・美高入口付近 ～

国民健康保険

美幌町の現状は

問 美幌町国民健康保険加入者の一人当たり医療費が右肩上がりに増加し、保険税増額の要因ともなっている。医療費・加入者平均年齢の推移、平均所得の推移を伺いたい。

答 一人当たり医療費は、平成25年度35万3千円、平成29年度40万2千円で、14%増となつており、今後増額で推移していくと考えている。

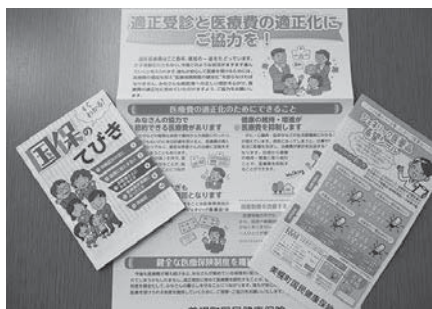
加入者平均年齢は、平成29年度52・8歳で団塊世代が後期高齢者に入るまでは高くなると考えている。また加入者平均所得は、平成29年度156万円で毎年増額している。

保険税全道統一

美幌町への影響は

問 市町村ごとの国民健康保険税の全道統一が予定されている。美幌町への影響を伺いたい。

答 国民健康保険の安定した財政運営、効率的な事業を行うため、都道府県単位で統一保険税を目指すこととなった。本町の所得水準が、道の平均値に近いことから今後の統一保険税の影響はない。



新人議員紹介 ～ 美幌のために汗をかきます！ ～



馬場 博美(ばば ひろみ)

64歳・美幌活性会(会派)



伊藤 伸司(いとう しんじ)

56歳・美幌活性会(会派)



藤原 公一(ふじわら こういち)

51歳・いちいの会(会派)



木村 利昭(きむら としあき)

31歳・美幌活性会(会派)

議会報告会・意見交換会を開催します！



～ 気軽にご参加ください ～

選挙後初の議会報告会・意見交換会を開催します。
町民皆さまの生の声をお聞かせください。

- 日 時 令和元年 8 月 5 日(月)
昼の部 14:00 / 夜の部 18:00
- 場 所 しゃきっとプラザ集団健診ホール(役場横)
- 内 容 議会審議内容報告
意見交換(住みよいまちづくり) 他

～ 全議員の政務活動費収支状況をお知らせします ～

政務活動に要する経費（使途基準）															
項 目		内 容													
調査研究費		調査委託費、交通費、宿泊費等													
研 修 費		会費、交通費、宿泊費、会場費、機材借上費、資料印刷費等													
要請陳情等活動費		会場費、機材借上費、資料印刷費等													
会 議 費		会場費、機材借上費、資料印刷費等													
資料作成費		印刷製本費、原稿料等													
資料購入費		書籍購入費、新聞雑誌購読料等													
広聴広報費		広報紙等印刷費、送料、交通費等													
事 務 所 費		事務所の賃借料、管理運営費等													
事 務 費		消耗品費、備品購入費、通信費等													

美幌町では、議員一人当たり月額2万円の政務活動費が交付されています。議員活動をするうえで、必要な経費の一部として交付するもので、使途は研修会参加費や書籍購入費などさまざまです。

各議員から平成30年度政務活動費収支報告がありましたので、お知らせします。

平成30年度 政務活動費収支報告

平成30年度 政務活動費 使途別集計表															
(単位： 円)															
交付番号	第1号	第2号	第3号	第4号	第5号	第6号	第7号	第8号	第9号	第10号	第11号	第12号	第13号	第14号	
区 分	高橋秀明	大江道男	新鞍峯雄	上杉晃央	稲垣淳一	戸澤義典	早瀬仁志	岡本美代子	坂田美栄子	吉住博幸	橋本博之	中嶋すみ江	古館繁夫	大原 昇	
1 調査研究費															0 0.0%
2 研 修 費	222,648	51,760	169,851	102,304	137,652	174,900			39,862			162,829			1,061,806 43.6%
3 要請陳情等活動費															0 0.0%
4 会 議 費															0 0.0%
5 資料作成費															0 0.0%
6 資料購入費	11,424	41,960	47,165	11,184	81,075	69,576		99,763	116,049	4,000	75,135	60,968	73,098	30,624	722,021 29.6%
7 広聴広報費		194,052		98,763	36,000	60,914							135,266		524,995 21.6%
8 事 務 所 費															0 0.0%
9 事 務 費			24,240	59,984	1,800			22,106			8,984	8,844			125,958 5.2%
収支報告分合計	234,072	287,772	241,256	272,235	256,527	305,390	0	121,869	155,911	4,000	84,119	232,641	208,364	30,624	2,434,780 100.0%
返 還 金	5,928	0	0	0	0	0	240,000	118,131	84,089	236,000	155,881	7,359	31,636	209,376	1,088,400
交付決定額(A)	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	3,360,000
交付確定額(B)	234,072	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	0	121,869	155,911	4,000	84,119	232,641	208,364	30,624	2,271,600
執行率(B÷A)	97.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.8%	65.0%	1.7%	35.0%	96.9%	86.8%	12.8%	67.6%

▼第19次町議会が5月スタートしました。大原議長を先頭に新人議員4名が加わりチーム議会として、町民の声を政策提案できるよう取り組んで参ります。

▼広報「びほろ町ぎかい」が、第39回北海道町村議会コンクールにおいて入選しました。今後もより分かりやすい紙面づくりを目指します。

▼本格的な夏シーズンを迎え、観光和牛まつり、びほろ夏まつり、花火大会、100kmデュアスロン大会などが催されます。皆で楽しみ元気に夏を過ごしましょう。

▼役場新庁舎、屋内多目的運動場、消防新庁舎の大型建設事業が着工します。完成後の施設が皆様に親しまれ効果的に運営されるようしっかりチェックして参ります。

(晃央)

議長 上杉 晃央
副議長 高橋 秀明
委員 岡本美代子
委員 稲垣 淳一
委員 木村 利昭

あ と が き